

科目名 Course Name	観光ビジネス実務総論 Introduction to Tourism Business			ナンバリング No.	E3-001		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(2階)で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP5, DP6						
授業の概要と 到達目標	<p>観光業において交通関連事業は欠かせないものである。交通事業における交通の歴史、役割、交通ビジネスの特性、現状とその課題等を学ぶことができる。交通関連事業について学び、それぞれの課題を考え、その解決策を考えられるように知識を修得していく。</p> <p>① 鉄道業の現状と課題を説明できるようになる。 ② 航空業の現状と課題を説明できるようになる。 ③ バス事業の現状と課題を説明できるようになる。 ④ クルーズ業界の現状と課題を説明できるようになる。</p> <p>その他、さまざまな交通に関する課題や問題点を理解し、解決策を検討することができる。</p>						
授業の方法	毎時間プリントを配布し、パワーポイントデータ等を確認しながら講義形式で行なう。新聞などを活用し、現在抱える問題点を明らかにし、考察しながら課題解決型学習を実践する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	① 交通業の基礎的知識を理解し、専門的知識を社会の現場で活かすことができる。それぞれの交通業の課題を見つけ、解決できる案を提示することができる。					
	L04	訪日外国人旅行に関して、交通業の抱える課題を見出すことができる。					
課題に対する フィードバック	授業内で各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	適宜、プリントを配布する						
履修上の留意点 やルール等	3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に集中し、必要であればノートをとる。不明なことがあれば、積極的に質問する。			10	10
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	設問に対して的確に解答できているか評価する。			40	40
その他					
合 計				50	50

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義内容・講義の進め方等）観光産業の現状解説
	事前・事後学習	オリエンテーション内容を十分に復習する
2	授業内容	観光交通の概念と役割および関連した仕事や事業
	事前・事後学習	観光における交通業の概念と役割の復習
3	授業内容	観光交通の歴史・発達史、交通運輸機関の輸送分担と旅客輸送の実態把握
	事前・事後学習	観光における交通運輸機関の実態把握の予習・復習
4	授業内容	JRの輸送概況、整備新幹線、リニアモーターカー リニアモーターカーの課題を検討
	事前・事後学習	整備新幹線、リニアモーターカーの予習・復習
5	授業内容	クルーズトレイン、私鉄の現状と課題 鉄道業の仕事や職業
	事前・事後学習	クルーズトレインの予習・復習
6	授業内容	航空政策と航空運輸業の変遷
	事前・事後学習	航空運輸業の予習・復習
7	授業内容	日本航空の敬遠破綻 全日本空輸の経営概況
	事前・事後学習	JALとANAの違いを復習
8	授業内容	航空業の仕事の役割と流れを学ぶ 航空業の課題を検討
	事前・事後学習	航空業における仕事について予習・復習
9	授業内容	格安航空会社とフルサービスエアラインの比較
	事前・事後学習	LCCとFSAの違いを予習・復習
10	授業内容	国内における空港の問題を把握する 空港の問題点を検討
	事前・事後学習	空港の問題点を復習
11	授業内容	水上交通の種類 役割
	事前・事後学習	水上交通を予習・復習
12	授業内容	クルーズの現状と課題
	事前・事後学習	クルーズについて予習・復習
13	授業内容	バス事業の現状把握と課題理解 バス事業の問題を検討
	事前・事後学習	バス事業の予習・復習
14	授業内容	タクシー事業の現状把握と課題理解
	事前・事後学習	タクシー事業の予習・復習
15	授業内容	交通運輸業全体のまとめ プレゼンテーション
	事前・事後学習	交通運輸業の復習